

大地震に備えて、3つのお願い！！

～日頃の備え編～

～みなさんが災害に備え、自助の力を高めていただくことで、医療、消防、防災拠点などの限りある資源を、本当に必要としている人に提供できます～

①揺れから「身を守る」！！

大地震発生時は、家具が転倒して、ガラスなどが散乱し、停電が発生するおそれがあります。怪我をしないよう自分の身を守りましょう。

怪我をしないためには？



・家具の転倒防止

→家具は凶器になります。



・枕元に履物

→ガラス破片などから足元を守る。

・懐中電灯を準備

→暗がり危険です。



②火災を発生させない！！

火災による延焼被害は深刻です。地震発生時の火災被害の6割以上が、電気火災によるものです。延焼防止に努めましょう。

通電火災※に注意

・感震ブレーカーを設置

→揺れでブレーカーが落ち、復旧時の火災を防ぎます。

・コンロ周辺の整理整頓

→火災被害を抑えられます。

・消火器を用意

→火災は小火でくい止めましょう。



感震ブレーカー

※地震などに伴う停電が復旧する際に発生する火災

③備蓄を最低「3日分」！！

自宅で避難生活を続けていくために、日頃から備蓄しましょう。避難所にある備蓄は最小限です。災害に備えましょう。

備える最低限の備蓄品



トイレパック

- ・水9リットル、食料3日分※以上
- ・トイレパック15パック以上
- ・普段服用している常備薬など

※港北区民の3日分の備蓄をしている世帯は全体の2/3です。(区民意識調査より)

地域防災拠点とは？？

いいえ！！

地域防災拠点は、自宅が倒壊や火災などで使用できなくなった方が、避難生活をする場所です。体育館などのスペースや備蓄品には限りがあります。自宅が無事な方は引き続き自宅で生活することが、ストレスの少ない避難生活につながります。

大地震が起こったら、自宅は無事でもとりあえず、地域防災拠点に行けばいいのかな～



【お問い合わせ】 港北区役所 総務課 TEL : 540-2206